

羽村市議会議員

日本共産党

鈴木たくや 議会/活動報告

No. 8
2009. 4. 15

すずたくだより



事務所 富士見平1-4-1松沢コーポ101 電話080-1058-9450
パソコンで好評!活動日記 <http://suztaku.blog.ocn.ne.jp> メール suztaku@ab.cyberhome.ne.jp

3月議会

市に入る税金が減るのだから 福祉・くらし・教育に予算をふり むけ、市の貯金も温存を!

—予算の組みかえ案を提案しました



◆みなさんこんにちは。共産党の鈴木たくやです。ご存知でしょうか?不況の影響で、市に入る企業の税金がなんと45%(7億円)のマイナスとなります(20年度と21年度の比較)。

◆こうしたもと、私は、3月議会で、羽村駅西口区画整理につかおうとしているお金の一部をつかって、福祉・くらし・教育を充実しながら、市が持っている貯金(基金)を温存する提案をしました。

新政会(自民党系)、公明党、民主党などは「ばらまきだ」などの理由で反対し、提案は実現しませんでした。残念です。

◆しかし、先日の市長選挙の結果をみても「西口開発よりも、福祉・くらしに」との市民の声がますます大きくなっていることは明らかです。もっともこの声を大きくし、現実に市政を大きく変えられるよう、引き続きがんばります。ご支援よろしくお願いいたします。

●今回提案した予算組みかえ案の内容

西口区画整理につかう4.69億円

1.69億

開発をすすめる予算

1.56億

土地を買う予算

1.44億

人件費や借金返済など

①このお金を福祉・教育などにまわす。また、市の貯金を温存する。

②土地を買うことをやめる。(予定していた借金1.4億もしないことできる)

ここはすぐに無くせないのでもま。

<充実できること>

- 障害者手当の増額
- 保育園・幼稚園の料金補助金を増額
- 少人数学級、学習サポーターの増員
- 地域会館に管理人をおく
- …など

<貯金の温存>

- 使おうとしていた市の貯金5,400万円は温存することに。

3月議会 一般質問

論戦ハイライト



今回の一般質問では、教育、労働、ゆとろぎの3点を取りあげ、バラエティーに富んだ内容となりました。持ち時間いっぱい1時間、全力で質問をおこないました。(発言は、内容を要約しています)



質問① 使いやすい「ゆとろぎ」にするために

- 会館「ゆとろぎ」がオープンしてから3年がたち、多くの市民に利用されています。もっとも使いやすい「ゆとろぎ」にするために、さまざまな点について提案をおこないました。
- 市は、改善の検討を約束した点もありましたが、納得できない理由で改善を拒否する内容も残りました。
- ひきつづき、使いやすい「ゆとろぎ」になるよう、提案と働きかけを強めていきます。

<利用料金について>

Q. 鈴木 地下の「音楽練習室1」の料金を立川市の民間貸しスタジオと比較してみました。ゆとろぎの方がすごく高いんです(4人編成のバンドで比較)。この部屋の利用率は4割ぐらいです。安くする必要があるのではないのでしょうか？

A. 羽村市 使用料は、民間ではなく、近隣の類似施設を参考にして、それよりも安くしました。

鈴木 公共施設で、民間より高いということはありえないですよ。誰もが自由にゆとろぎで活動できるように、引き下げていくことが大事です。

●こんなに高い「ゆとろぎ」の使用料●

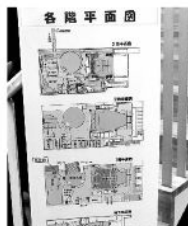
	午前3時間	午後3時間	夜間3時間
ゆとろぎ	5,750円	6,350円	6,750円
立川の貸しスタジオ	2,400円	3,000円	5,100円

(ゆとろぎは、音楽練習室1でマイク3本、スタンド3本、ギターアンプ2台、ベースアンプ1台、ドラムセット1台、PAセット使用)

<わかりやすい会場表示について>

Q. 鈴木 私も、行ったことのない部屋は、しばらく探すのに考えちゃうんです。例えば、郵便局はこういうサインを付けています。(下の写真) ゆとろぎも、もうちょっと部屋の場所をわかりやすくするため、工夫する必要があると思いますが？

A. 羽村市 はじめて来た人の立場になって、表示を検討していくことが必要だと思います。



左はゆとろぎの案内板。上は郵便局の床のサイン

<中央ひろばについて>

Q. 鈴木 中央の交流ひろばは、あまり利用されておらず、もったいないと感じます。

例えば、あそこを無料のフリーステージにして、演奏やコントなど、お客さんを選んで自由にできるようにできないのでしょうか？

A. 羽村市 あそこは「交流のエリア」というコンセプトになっていまして、独占するような活用は考えておりません。

鈴木 コンセプトというのは、はまらないこともあるわけですね。柔軟に検討すべきです。

質問② 小中一貫教育、2学期制について問う



- 市が来年4月から武蔵野小・羽村3中ではじめるとしている「小中一貫校」、今年で5年目をむかえる「2学期制」について質問しました。
- 私は質問に先立って、我が子の同級生の父母にアンケートをおこないました。対象人数が少ないので、参考資料的なものですが、小中一貫校については情報が不足していて不安が大きいこと、2学期制については良さを実感している父母がとても少ないことがうかがえます。
- 教育長に対しては、小中一貫校を上から押し付けるようなことにならないように、また、2学期制については3学期制に戻すこともふくめて検討をおこなうことを質問しました。

うと、前期中と理解していいのでしょうか？

A. 教育委員会 前期

だとか後期だとか、今のところお示しできません。

Q. 鈴木 はっきりしませんが、4月や5月には最終報告は出ないんでしょうね。だから、羽村学園を22年に開校というのは無理ですよ。23年度以降に延びるという理解でいいのでしょうか？

A. 教育委員会 今その数字はお示しできません。

<父母・教員の意見をどう反映させるか>

Q. 鈴木 小中一貫校、メリットもデメリットもあるんです。一番大事なのは、それについて、教員や父母に対してしっかり説明して、納得してもらった上で決めていくということが大事ですよ。それで、小中一貫校を「やるか、やらないか」ということは、最終報告が出てから、父母や教員の意見を聞いて決めるということがいいですよ？

A. 教育委員会 最終報告が教育長のほうに提出されます。それをうけて、教育委員会において決定される、という手順です。

鈴木 22年開校は無理なんですから、「やる・やらない」を含めて十分に議論すべきです。

教育委員会が信頼を回復して、「本当に子どもたちのために何がいいのか」を、教員も父母も一緒になって考えていく機会にするために、(実施先にありきで、) レールを敷いちゃうようなやり方はやめて欲しいんです。

問：平成22年度から実施予定の「小中一貫校」についてどうお考えですか？

①賛成だ 0人	アンケート対象は武蔵野小・3中の保護者。下同じ。
②やや賛成だ 1	
③どちらとも言えない 10	
④やや反対だ 4	
⑤反対だ 3	

問：市内小学校でおこなわれている「2学期制」についてどうお考えですか？

①よいと思う 0人
②まあまあ良いと思う 1
③どちらとも言えない 5
④見直しを含めて検討すべき 13
⑤見直すべき 2

<小中一貫校の開校時期について>

Q. 鈴木 (小中一貫校検討委員会の) 最終報告はいつごろ出されるのでしょうか？前期・後期でい

<2学期制について>

Q.鈴木 実は、2学期制から3学期制に戻すところが増えています。大阪の四條畷市では、17年度から2学期制を導入していましたが、21年度から3学期制に戻すんですね。理由としては「定期試験まで期間が長くて、かえって子どもが勉強しない」「他の学校と学期制がことなるので、試験期間中にクラブの公式試合があることもある」ということです。

羽村でも、子どもたちの実態をよく踏まえて、特に中学校は3学期制に戻すということも含めて考える必要があると思いますが、いかがですか？

A.教育長 どんな制度でも、現場の中で相当の工夫をしないと、制度というのは高められないという認識をもっております。より今のとりくみを充実させていきたいなという思いです。

質問③ 市民の雇用を守るために

- ひどい不況のもと、雇止めにあう派遣社員など、市民のくらしや雇用が深刻になっています。
- 羽村市がこうした状況をよくつかんで、市民のくらしを守るために、できることをしっかりやるよう質問しました。回答は不十分なものでした。

Q.鈴木 体力のある企業に雇用を守らせることは、市民のくらしと地域経済を成り立たせていくために不可欠です。

3年間の期間制限をこえて違法な派遣労働をおこなっているケースについて、市内企業への周知徹底、広報などで市民への周知をおこなうことが必要と考えますが、いかがでしょうか？

A.市長 国が適切に対応するものと考えております。

西多摩衛生組合への 小金井ごみ搬入止まる



3月2日、西多摩衛生組合への小金井市のごみ搬入が中断されました。小金井市が十分な対応をとらず、2月中旬に新焼却炉の場所を正式決定することができなかったためです。

日本共産党羽村市議団は、並木市長に対し「小金井市が決定できなかった場合には、約束どおり受け入れ中止をすること」を申し入れていました。

今後、他市のごみ受入れが住民の十分な合意ぬきにくりかえされることの無いよう、協定の見直しなどに向け、声をあげていきます。

学校 給食

卵や牛乳が食べられない「食物アレルギー」の子どもが増えています。アレルギーに対応した給食をつくることについて、給食センターは「場所がせまく対応できない」と言っていました。私はもっと狭い昭島市で一部アレルギー対応をしていることを指摘。センターでは昭島市へ視察に行き、今後の対応が検討されています。



■介護保険・国保税—共産党市議団の提案みのり、「低・中所得者の保険料をあげない」ことになりました。

ご意見・ご要望などぜひお寄せください。
(080-1058-9450)